

放課後児童クラブの整備計画について

平成 29 年 8 月 17 日

藤枝市児童課

放課後児童クラブの整備計画について

(1) 計画改定の考え方

平成 27 年度に策定した子ども・子育て支援事業計画は、計画期間の中間年に見直しを行うこととされており、放課後児童健全育成事業については、利用の申込みや登録児童・待機児童の実績値の分析に加えて、保育所やマンション等の変動要因の分析を踏まえ、必要に応じ、改定することとされている。

(2) 実績値と今後のニーズ量の見込み

放課後児童クラブの整備については、余裕教室等の確保に加え、小学校敷地内に専用施設を整備することにより供給量の増加を図っており、平成 29 年 4 月 1 日までに余裕教室 5 か所 157 人、専用施設 3 か所 130 人分の供給量を確保した。今年度に行う葉梨小学校第 2 児童クラブ及び青島北小学校第 2 児童クラブの専用施設整備によりさらに 80 人分の供給量を確保する。

今後のニーズ量の見込みについては、平成 29 年 3 月 31 日現在の人口に平成 27 年度から平成 29 年度の 3 年間の小学校区及び学年毎の利用率の実績値を乗じて算出した。

※ $H29.3.31$ 人口 \times 実績利用率 = ニーズ量の見込み

◆提供区域別

藤枝市北東部 (葉梨・広幡・岡部地区)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度
当初計画値	296 人	302 人	311 人	320 人	331 人	—	—
実績登録人数／ニーズ量の見込み	264 人	302 人	319 人	309 人	307 人	304 人	287 人
供給量	348 人	360 人	360 人	400 人	400 人	400 人	400 人

藤枝市中部 (藤枝・西益津・瀬戸谷・稲葉地区)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
当初計画値	232人	245人	241人	235人	232人	—	—
実績登録人数／ニーズ量の見込み	211人	208人	198人	211人	207人	204人	186人
供給量	283人						

藤枝市青島 (青島地区)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
当初計画値	360人	361人	360人	361人	365人	—	—
実績登録人数／ニーズ量の見込み	280人	322人	383人	363人	370人	360人	347人
供給量	271人	271人	382人	422人	422人	422人	422人

藤枝市南部 (高洲・大洲地区)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
当初計画値	293人	291人	293人	291人	294人	—	—
実績登録人数／ニーズ量の見込み	212人	228人	257人	237人	233人	234人	226人
供給量	266人						

◆市内合計

市内合計	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
当初計画値	1,181人	1,199人	1,211人	1,219人	1,242人	—	—
実績登録人数／ニーズ量の見込み	967人	1,060人	1,157人	1,120人	1,117人	1,102人	1,046人
供給量	1,168人	1,180人	1,291人	1,371人	1,371人	1,371人	1,371人

(3) 分析結果

北東部地区においては、葉梨小学校区の未就学児の増加に伴い、今後児童数増加が見込まれるが、専用施設整備により供給量を確保できている。

中部地区においては、今後大きなニーズ量の変動は見られず、供給量も確保できている。

青島地区においては、当初計画値を上回るニーズ量が推計されており、駅前のマンション開発などニーズ量の変動要因はあるものの平成28年度及び平成29年度の専用施設整備によりニーズ量を上回る供給量を確保できている。

南部地区においては、特定教育・保育施設の創設等、ニーズ量の変動する可能性があるため、今後も利用状況等に注視していく。

市内合計の当初計画値とニーズ量の見込みの乖離はおよそ10%程度であり、転入超過が続いている本市の現状に加え、今後も特定教育・保育施設の整備が見込まれるが、ニーズ量の見込みを超える供給量が確保できていることから放課後児童クラブの整備計画については、改定を行わない。